

町内会に関するオンラインアンケート調査結果報告

目 次

- I アンケート調査の概要
 - 1 調査の背景と目的
 - 2 調査の概要
- II アンケート調査結果
 - 1 回答者の属性
 - 2 町内会加入者の調査結果
 - 3 町内会未加入者の調査結果
- III 調査結果の分析
- IV まとめ

令和 7 年（2025 年）12 月

旭 川 市

I アンケート調査の概要

1 調査の背景と目的

近年、少子高齢化の進行、地域のつながりの希薄化といった社会情勢の変化により、町内会活動の停滞が顕著となっている。具体的には、若年層の地域外への転出や高齢化による担い手の減少、共働き世帯の増加に伴う地域活動への負担感の増大など様々な要因が考えられるが、いずれも社会構造の変化により引き起こされたものであり、町内会の努力だけで事態を改善することは容易ではない。

町内会は、ごみステーションや街路灯の維持管理、子どもの登下校時の安全確保、高齢者の見守り活動など、地域の安全・安心を支える重要な役割を担っている。これらの活動が停滞することにより、市民生活に支障が生じるだけでなく、行政による地域運営にも影響が及ぶことが懸念される。

これまでも町内会加入率の低下に対応するため、普及啓発が継続的に行われてきたが、新型コロナウイルスの感染拡大の影響による一時的な活動休止を契機として、加入率のさらなる低下や担い手不足が顕在化しており、町内会活動の持続可能性が危ぶまれる状況にある。

こうした課題に対応するため、本市では町内会に対する市民の意識や参加状況、今後の関わり方等を把握し、持続可能な町内会活動のあり方を検討するための基礎資料とするため、市民を対象としたアンケート調査を実施した。

2 調査の概要

調 査 名：旭川市町内会・自治会調査

調査期間：令和7年7月8日から令和7年8月8日まで

調査方法：ネットを通じたオンラインアンケート

周知方法：旭川市広報誌「あさひばし」7月号掲載

地域情報共有プラットフォーム「あさひかわ くらしのアプリ」配信

市公式 SNS、LINE 配信

チラシ配布、掲示（総合庁舎、各支所など）

市政モニターへ広報広聴課経由で依頼

回 答 数：3,557 件

媒体ごとの回答数

旭川市公式 LINE	2,638 件
旭川市公式 HP	303 件
「くらしのアプリ」	244 件
チラシ(二次元バーコード)	109 件
市政モニター	102 件
広報誌(二次元バーコード)	94 件
旭川市公式 SNS	67 件

3 調査結果の表し方

- (1) 調査結果の数値は回答数（件）および回答率（％）で示しており、表・グラフでは（件）を省略している。回答率の母数は、その質問項目に該当する回答をした回答者数である。なお、回答者数は n で示している。
- (2) 回答率は原則として各設問の無回答を含む回答者総数（副設問では該当する回答者数）に対する百分率で表している。
- (3) 百分率は小数第2位を四捨五入し、小数第1位まで表示しているため、回答率の合計が 100.0%にならない場合がある。
- (4) 選択肢の中から複数選べる設問では、回答率の合計が 100.0%を超える場合がある。
- (5) 自由記載の項目については要約した意見を掲載している。